

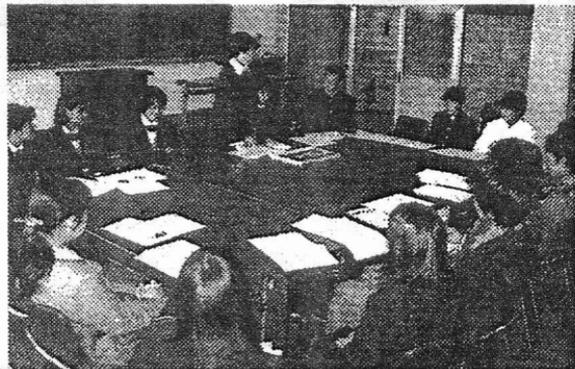
学校の枠を超えて 活動や情報交換を

岡山市北長瀬本町の県立岡山大安寺高校で十一日、ボランティア活動をしている高校生の意見交換会が開かれ、高校の枠を超えて一緒に活動したり、情報交換をしたりする「ボランティア高校生会」

(会長、松嶋文代、岡山大安寺高校生徒会長)を発足させた。アジア医師連絡協議会(A.M.D.A、本部・岡山市)と協力しながら、二月に起きた大地震で被害を受けた中国・雲南省の小学校を再建するための募金集めをするという。

意見交換会は岡山大安寺高校生徒会の主催で開かれた。同生徒会は雲南省の被災者のために募金約二万三千円を集め、A.M.D.Aに寄付した。その際、A.M.D.Aのスタッフから「高校生もボランティア活動に立ち上

や使用済みテレホンカードを集めるなどの活動を報告



した。参加者は活動を始めたきっかけなどを語りながら、「障害のある子供と接する中で、体の不自由な人と自然にコミュニケーションができるようになった」「人のために何かしている充実感がある」といった感想を話し合った。

松嶋会長は「いろんな学校の人と知り合って視野を広げたい。将来的には県外の高校生にも参加を呼びかけたい」と話している。

ボランティア活動を広げるにはどうすればいいか、話し合う高校生たちは岡山市北長瀬本町の県立岡山大安寺高校で